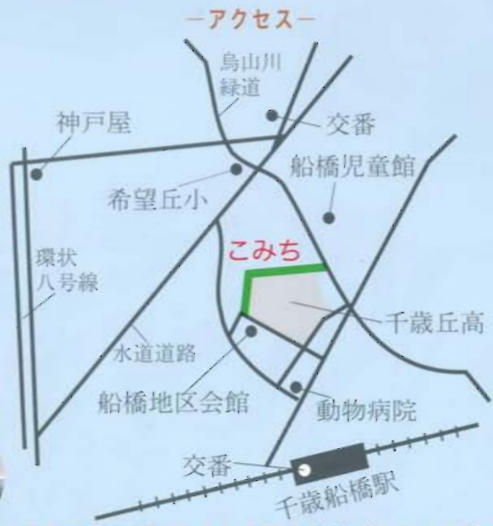
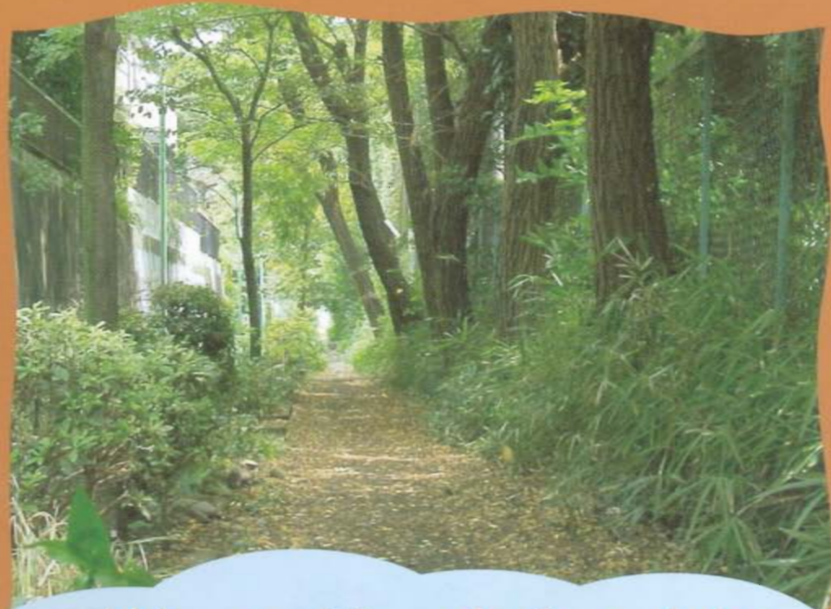




「季節の野草に出会う小径」は、都会では貴重になった土と草の魅力に溢れた道として2002年、世田谷区の地域風景資産に選定されました。今は住宅地に残る、この300mほどの道の風景を区と協力ははくんでいます。邸宅のおもかげと水辺を備えた能勢公園も加わり、みどりはさらに続きます。

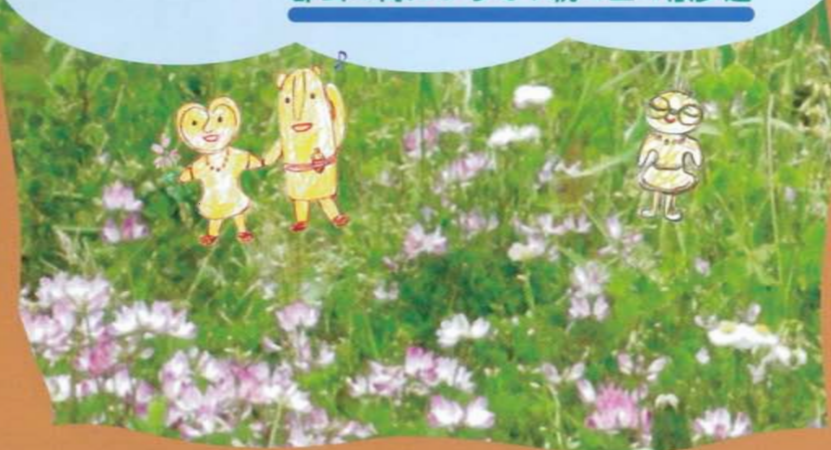


世田谷区船橋3丁目、千歳丘高校グラウンド脇  
○世田谷区地域の絆再生支援事業の補助を受けています



# 季節の野草に出会う小径

都会の街にひっそり続く土の散歩道



# 小径さんぽ

自然観察のできる環境と草木のおりなす四季の風景を楽しめる土の散歩道

「ゆっくり歩きましょう」看板  
ぬかるみ発生の原因になる自転車の  
走行にも、呼びかけています



## 水の記憶

小径に沿った高台は縄文中期の遺跡。幾筋もの流れがあり、  
蛍、ドジョウ、メダカが棲み、畔にはヨメナ、サギソウ、  
レンゲなどが見られた。昭和50年頃、烏山川とともに暗  
渠となり、散歩道として愛されてきた。



鳥の来る林  
グミ ニシキギ ウメ  
イタヤカエデ ヤマボウシ

60年来のニセアカシアの並木

湿地植物

サラサドウダン  
ウグイスカグラ

ハシノキ

やあ  
こんいちほ

昔の風景ヨメナとレンゲ

カンボク ツリバナ ナツグミ  
マユミ クロモジ

レンゲの土手

四季の野草 野原の復元区域

生き物保護区

小説「ねじまき鳥」の舞台イメージ

風の坂道

水辺のシンボルツリー 植物  
ハシノキ ヤシヤブシ ネコヤナギ  
ヨメナ ナワシロイチゴ カラスビシャク

## こもればマップ

小径入口は桜のトンネル。  
サワラの並木に続いて枝  
をはったオオシマザクラ  
とクヌギ。秋には落ち葉  
が舞い積もる。  
赤錆色の鉄矢板と古びた  
コンクリート壁は水路の  
名残をいまでも留め、ここ  
は水辺の記憶を宿す自生  
植物の観察域として保護  
されている。  
この先は、イヌノフグリ、  
ホトケノザ、スマシレが早  
春を飾る。レンゲの土手。  
懐かしい野の草に出会え  
るのもこの辺り。

## ねじまき鳥クロニクルの風景

「あたりには物音ひとつなく、草の葉が日の光を浴びて呼吸する音までが  
聞こえてきそうだった」。村上春樹著「ねじまき鳥クロニクル第一部」(新潮文庫)より

登場する路地を思わせる風景として小径の写真が世田谷文学館の常設展示  
「文学に描かれた世田谷100年の物語」で紹介されている。

